



くがっひなぐさんとうかじつこういんかい
九月は日奈久で山頭火実行委員会

概要

団体名	九月は日奈久で山頭火実行委員会
代表者	今田 徳次郎
構成	53名
推薦団体	八代市
主な活動地	八代市日奈久温泉街一帯

本賞

九月は日奈久で山頭火実行委員会は、平成十二年から八代市日奈久温泉街を中心に「九月は日奈久で山頭火」を開催してきた団体です。

放浪の俳人・種田山頭火が昭和五年九月に、日奈久温泉の木賃宿「織屋」に滞在した史実にちなみ、八代・日奈久地域で約一か月にわたって開催される催しは、山頭火を語る「シンポジウム」、「記念句会」八代から日奈久への行程を辿る「山頭火ウォーク」など、山頭火ファンをはじめ地域住民も参加できるよう工夫され、近年では全国からの来場者が三千人を超えるようになりました。

この催しは、地域の文化的資源を活用しながら、日奈久温泉街の活性化、活動に携わる専門家や学生、観光客と地域住民との交流を深める一助にもなっています。

このように、当会は、山頭火が滞在したという史実と地域の文化的資源の活用を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

- 平成十二年 第一回開催（以降毎年開催）
- 平成十七年 第十四回全国山頭火フォーラム
in 日奈久を併催（第六回）
- 平成二十七年 第二十四回全国山頭火フォーラム
in 日奈久を併催（第十六回）
熊本地震で隣接の赤れんが倉庫が一部損壊し、織屋にも被害
- 平成二十八年 （のちに赤れんが倉庫は学生や住民らの手により「レンガの広場」として再生し、織屋は全国からの寄付で改装）
- 令和元年 二十周年を記念し、『記録 九月は日奈久で山頭火』を発行